

環境経営レポート 2021

(活動期間：2021.4～2022.3)



2022年7月1日発行

目次

1.会社概要	3
2.対象範囲	4
3.環境経営方針	7
4.環境経営目標(単年度及び中長期目標)	8
5.環境経営計画	9
6.環境経営目標の取り組み結果	10
7.個々の結果と評価、次年度の取り組み内容	11
8.その他の取り組みについて	15
9.環境関連法規則等の遵守状況	16
10.代表者による全体評価と見直し・指示	17

1.会社概要

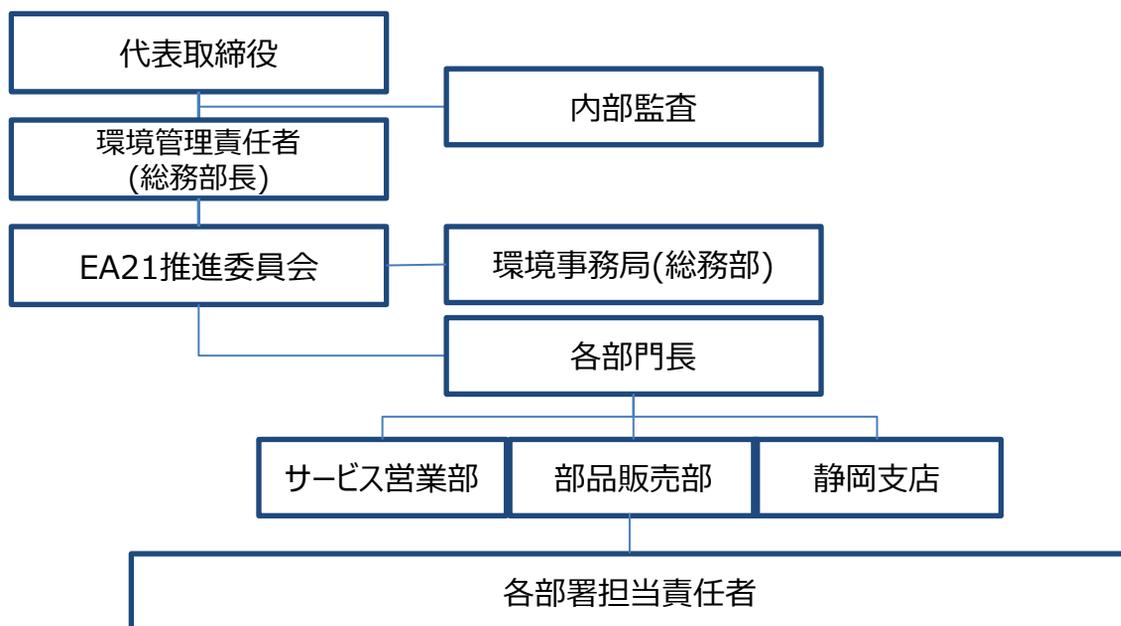
事業所名	東海自動車工業株式会社	
代表者	代表取締役社長	濱崎芳行
事業所	本社・静岡支店	静岡県静岡市駿河区国吉田2丁目1番11号
	藤枝支店	静岡県藤枝市南新屋239番地
	吉田支店	静岡県榛原郡吉田町住吉780-1
	長沼事務所	静岡県静岡市葵区长沼995-1
環境管理責任者	取締役総務部長 加藤秀典	
担当者・連絡先	総務部副部長兼総務課長 平井秀祐	
	TEL : 054-263-1122 FAX : 054-263-8523	
事業内容	自動車の整備加工・販売・関連商品販売・賃貸・管理請負,保険代理店業務並びに電気機械器具・通信機械器具・事務用機械器具の販売修理	
事業規模	資本金 9,000万円	
	従業員数 171名(2022年3月現在) 延べ床面積 9,242.1㎡	
	売上高 25.9億円(2021年度)	

2.対象範囲

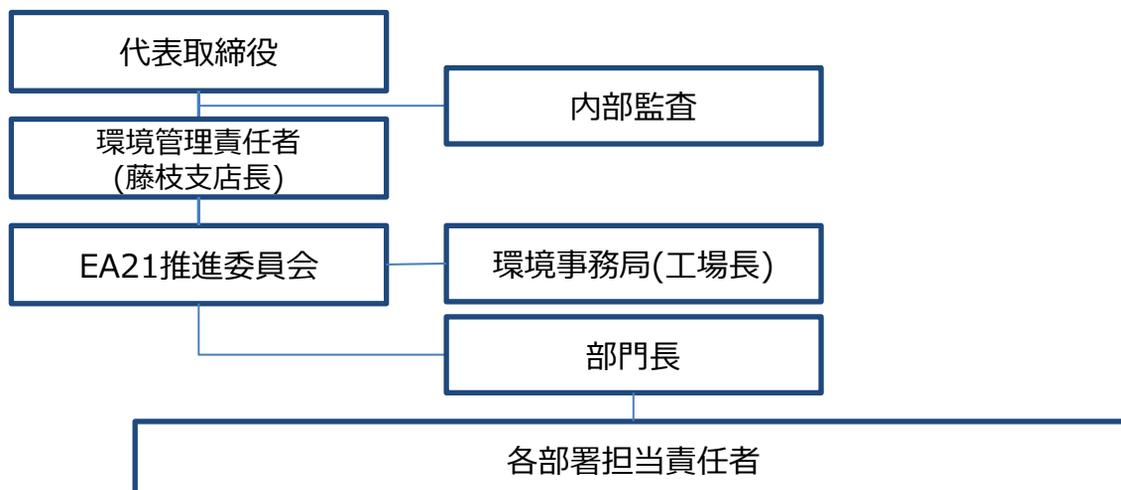
登録範囲は全事業所を対象とし、登録内容は事業内容とする。

(1) 実施体制表

・本社・静岡支店、長沼事務所(静岡地区)

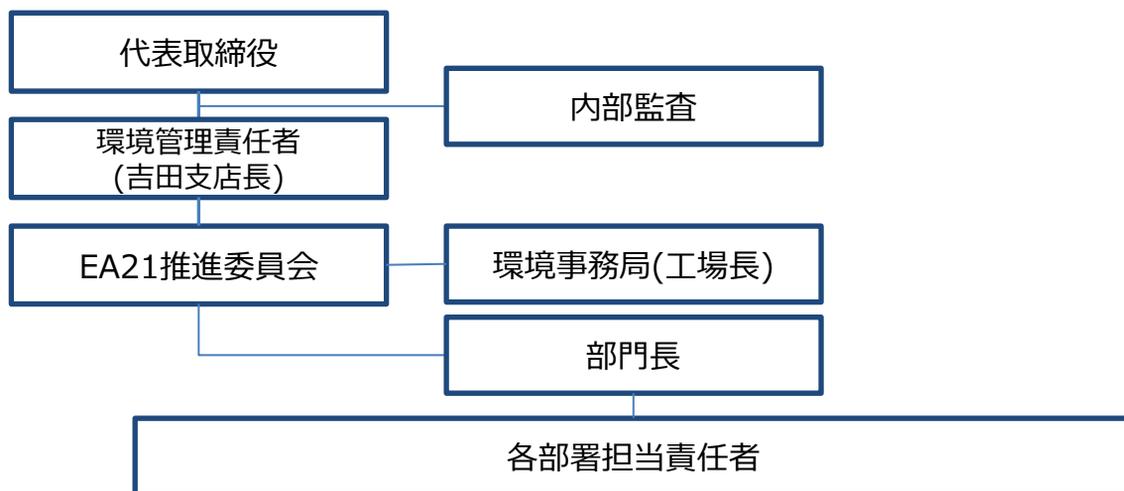


・藤枝支店(藤枝地区)



2.対象範囲

・吉田支店(吉田地区)



2.対象範囲

(2) 役割・責任・権限

職名	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な要員、設備、費用等の承認。 ・環境管理責任者の任命。 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知。 ・環境目標・環境活動計画書の承認。 ・代表者による全体の評価と見直し。
環境管理責任者 (総務部長・藤枝、 吉田支店長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境経営システムの実施に必要な要員、設備、費用等の準備。 ・環境関連法規等の取りまとめ結果承認。 ・環境目標・環境活動計画書の確認。 ・環境活動の取組結果の代表者への報告。 ・環境経営レポートの承認。
環境事務局 (総務部)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成。 ・環境活動の実績集計。 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成。 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境経営レポートの作成、公開。
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施。 ・自部門における環境方針の周知。 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理。 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施。
担当責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。

3.環境経営方針

■環境経営理念

私たちは、経営理念である「安全・安心・快適のあくなき追求」のもと、自動車整備・販売等の事業活動を通じ、地球温暖化問題への継続的取り組みや地域の環境保全に社員一丸となり自主的且つ積極的に取り組むことで、持続可能な人にやさしく、地球にやさしい社会の実現を目指します。

また社員の働きやすい環境整備をすることで、より質の良いサービスをお客様に提供し、お客様に信頼され、選ばれる会社を目指します。

■環境保全への行動指針

1. 地球温暖化防止のため、二酸化炭素の削減に取り組みます。

① 自社における電力・燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。

2. 資源の有効利用のため、廃棄物の削減に取り組みます。

① 事務所での一般廃棄物の削減と分別廃棄を可能な限り努めます。

② 自動車整備業務に伴う産業廃棄物について、分別回収による資源の有効利用に努めます。

3. 水資源の有効利用のため、節水に取り組みます。

① 自動車整備業務の洗車・工場清掃時に使用する水の節水に努めます。

② 事務所での節水に努めます。

4. 地球環境保全のため、エコカー推奨販売、環境に配慮した整備に取り組みます。

① 循環型社会推進のため、Ecoバッテリーの推奨販売に取り組みます。

② 循環型社会推進のため、Ecoカーの推奨販売に取り組みます。

5. P R T R法を遵守し化学物質の管理を行います。

① 環境に優しく、作業従事者の健康に配慮した塗料への差替えを推進します。

※これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

6. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

7. 環境コミュニケーションに取り組みます。

① 会議等による周知に留まらず、全従業員からの意見・提案を募り双方のコミュニケーションを図ります。

② 外部からの環境に関する苦情や要望に誠実に対応いたします。

③ 環境経営への取り組みを環境経営レポートとして組織内外に公表します。

制定日：2009年3月31日

改定日：2020年6月16日

東海自動車工業株式会社

代表取締役 濱崎 芳行

4.環境経営目標(単年度及び中期目標)

	基準年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
電力の二酸化炭素排出量削減(kg-CO ₂)		309,062	311,228	313,155	310,023	306,892
	基準値	-	+0.7%	+1.3%	+0.3%	△0.7%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減(kg-CO ₂)		265,579	264,252	264,252	262,923	260,267
	基準値	△0.5%	△0.5%	△0.5%	△1.0%	△2.0%
一般廃棄物削減(kg/年)		2,250	2,240	2,240	2,240	2,240
	基準値	△0.4%	△0.4%	△0.4%	△0.4%	△0.4%
産業廃棄物削減(kg/年)		240,386	239,425	239,185	238,889	238,506
	基準値	△0.2%	△0.4%	△0.5%	△0.6%	△0.8%
水使用量削減(m ³ /年)		5,653	5,597	5,576	5,410	5,405
	基準値	△0.6%	△1.0%	△1.4%	△4.3%	△4.4%
ecoバッテリー販売(個/年)		1,454	1,780	1,823	1,942	2,006
	基準値	+19.2%	+22.4%	+25.4%	+33.6%	+38.0%
ecoカー販売(台/年)		108	126	131	133	134
	基準値	+13.0%	+16.7%	+21.3%	+23.1%	+24.1%
化学物質の適正管理(kg/年)		1,431.0	1,222.2	1,108.8	1,100.3	1,087.4
	基準値	△7.3%	△14.6%	△22.5%	△23.1%	△24.0%
灯油の二酸化炭素排出量削減(kg-CO ₂)		-	6,030.7	6,030.7	5,895.2	5,760.8
	基準値	-	-	-	△2.2%	△4.5%

4.環境経営目標(単年度及び中期目標)

	基準年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
LPGの二酸化炭素排出量削減(kg-CO ₂)	-	20,979.9	20,979.9	20,979.9	20,770.1	20,560.3
	-	基準値	-	-	△1.0%	△2.0%

※温室効果ガスである二酸化炭素排出量の算出には中部電力の2017年実排出係数 0.472kg-CO₂/KWh 等を使用

5.環境経営計画

取組目標	活動項目	責任者	実施時期
電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・通年輕装化の実施。 ・冷暖房機器は適切な温度で使用する。(冷房27℃、暖房21℃) ・OA機器を使用しない時、電源OFF又は省電力モードにする。 ・未使用時、昼休み等に不要な照明の消灯に努める。 	各部門長	通年
自動車燃料の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブを徹底する。 ・車両購入時にエコカーの導入を検討する。 	各部門長	通年
一般廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・会議資料を削減する。 ・ペーパーレス化を推進する。 	各部門長	通年
産業廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェス、廃グリースの排出を削減する。 ・リサイクル率の向上に努める。 	各部門長	通年
水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・節水、漏水防止に努める。 	各部門長	通年
ecoバッテリーの販売	<ul style="list-style-type: none"> ・ecoバッテリーの販売推奨。 	各部門長	通年
ecoカーの推奨販売	<ul style="list-style-type: none"> ・エコカー、安全サポートカーの販売推奨。 	各部門長	通年
化学物質の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ塗料を導入する。 ・水性塗料への切替えについて検討する。 	各部門長	通年

6.環境経営目標の取り組み結果

項目	単位	2021年度		目標比(%)	達成状況
		目標値	実績値		
電力の二酸化炭素排出量削減	Kg-CO ₂	313,155	297,494	94.9	○
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	Kg-CO ₂	264,252	223,838	84.7	○
一般廃棄物削減	kg/年	2,240	3,120	139.2	×
産業廃棄物削減	kg/年	239,185	226,124	94.5	○
水使用量削減	m ³ /年	5,576	5,460	97.9	○
ecoバッテリー販売	個/年	1,823	2,420	132.7	○
ecoカー販売	台/年	131	107	81.6	×
化学物質の適正管理	kg/年	1,108.8	1,078.1	97.2	○
灯油の二酸化炭素排出量削減	Kg-CO ₂	6,030.7	7,903.3	131.0	×
LPGの二酸化炭素排出量削減	Kg-CO ₂	20,979.9	21,919.8	104.4	×

※削減目標：○ = 達成(100%未満)、× = 未達成(100%超)

※達成目標：○ = 達成(100%以上)、× = 未達成(100%未満)

※温室効果ガスである二酸化炭素排出量の算出には中部電力の2017年実排出係数 0.472kg-CO₂/KWh 等を使用

※廃油はリサイクルしているため、産業廃棄物から除外しております。

7.個々の結果と評価、次年度の取り組み内容

■電力の二酸化炭素排出量削減

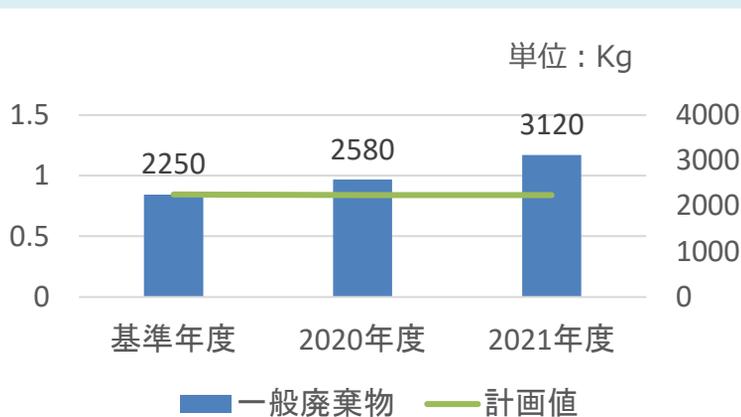


■自動車燃料の二酸化炭素排出量削減



7.個々の結果と評価、次年度の取り組み内容

■ 一般廃棄物の削減



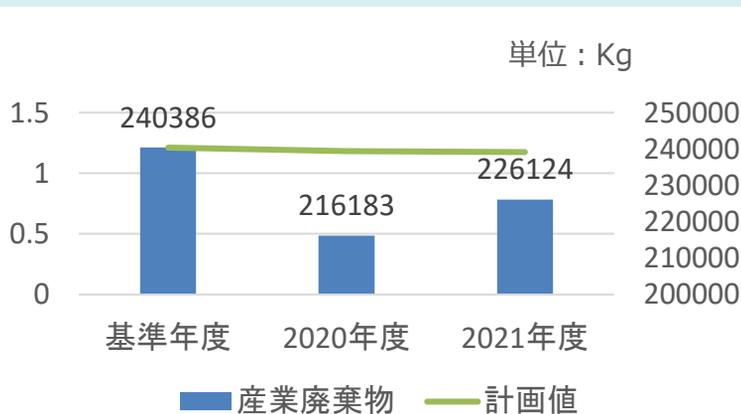
取り組み結果の評価

・会議資料は削減できたものの、書庫の資料や段ボールの処分量が増加したため削減目標内におさめることができなかった。

次年度の取り組み

・会議資料の削減と社内文章のペーパーレス化を推進していきます。

■ 産業廃棄物の削減



取り組み結果の評価

・新型コロナウイルス感染症の影響もあり事故在庫台数が減少したため削減目標内におさめることができた。

次年度の取り組み

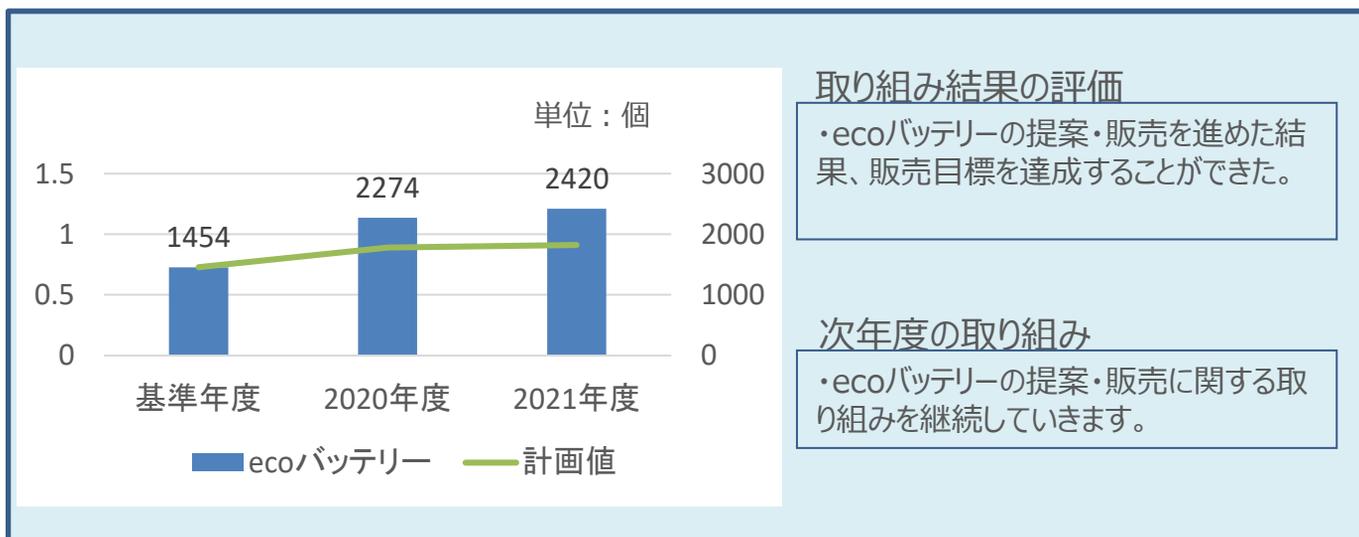
・引き続きリサイクル率の向上に向けた取り組みを推進していきます。

7.個々の結果と評価、次年度の取り組み内容

■水使用量の削減

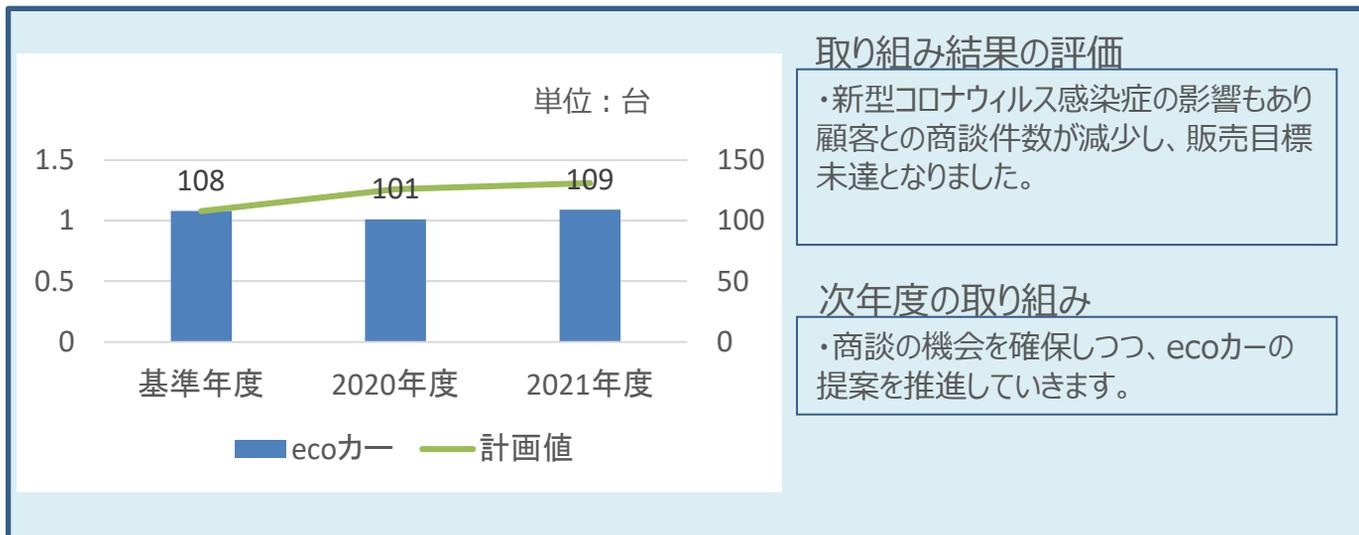


■ecoバッテリーの販売



7.個々の結果と評価、次年度の取り組み内容

■ ecoカーの販売



■ 化学物質の適正管理



8.その他の取り組みについて

■「オゾンプロ」を贈呈しました。

2021年10月13日に弊社代表濱崎から株式会社エスパルス山室社長へ「オゾンプロ」を贈呈いたしました。

「オゾンプロ」は、空気中に存在する酸素からオゾンを生成し、コロナウイルス等を不活性化させることが実証された今話題の除菌消臭装置です。残留物も残さないため、地球環境にも優しくお使いいただけます。



■車いすの整備清掃ボランティア活動

損保ジャパン静岡支店と同社自動車整備工場代理店組織のAIRオートクラブ静岡支部は車いすの整備清掃ボランティア活動を静岡市葵区の市中央福祉センターで実施しました。

同支部会員ら10名が市民に貸し出しを行っている車椅子約35台を点検しました。



■防災訓練実施

2021年9月1日に防災訓練を実施しました。新型コロナウイルス感染防止のため、初期消火訓練、救命訓練は取りやめ、避難行動訓練、安否確認訓練を中心に実施しました。



9.環境関連法規則等の遵守状況

区分	法律・条令 規則の名称	規制内容等	遵守状況
廃棄物	廃棄物処理法 (略称)	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の適正処理と減量 ・国・地方公共団体の施策に協力 ・産業廃棄物が排出されるまでの適正保管 ・運搬又は処分する場合は、環境省で定められた業者などに委託 ・発生から最終処分が終了まで、適正処理に努める ・産業廃棄物管理票の交付（5年間保存） ・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出（毎年6月末） 	○
	フロン排出抑制法 (略称)	<ul style="list-style-type: none"> ・業務用パッケージエアコン（第一種特定製品）は、3ヶ月に1回以上の簡易点検及び製品ごとに記録簿保存 ・圧縮機電動機定格出力 7.5kw 以上は3年に1回以上専門家による定期点検 	○
	自動車リサイクル法 (略称)	<ul style="list-style-type: none"> ・使用済み自動車の適正な引渡し ・リサイクル料金の納付 	○
水質	水質汚濁防止法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設の設置届出（洗車機） 	○
	浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> ・設置または変更時の届出 ・保守点検、定期検査（年1回の水質検査実施） 	○
振動・騒音	騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・規制基準の遵守 ・騒音発生施設の設置届出 	○
	振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・規制基準の遵守 ・振動発生施設の設置届出 	○
化学物質・危険物	労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none"> ・塗装ブース、集塵装置等の届出 ・化学物質等の有害性等の調査及び健康障害防止処置 	○
	P R T R 法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定化学物質の管理 	○
	高圧ガス保安法	<ul style="list-style-type: none"> ・圧縮天然ガス自動車燃料装置用容器の取扱い 	○
	消防法	<ul style="list-style-type: none"> ・防火管理者の選任、消防計画の作成、避難訓練の実施 	○
条例	静岡県生活環境保全条例	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設の届出、変更届 	○

9.環境関連法規則等の遵守状況

区分	法律・条令 規則の名称	規制内容等	遵守 状況
条例	静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	・事業者の責務、管理責任者の設置、実地確認、記録、保存	○
	静岡市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	・事業者の責務、管理責任者の設置、実地確認、記録、保存	○
	静岡県環境基本条例	・自然環境破壊の防止 ・廃棄物の適正処分 ・国・地方公共団体の施策に協力	○
	静岡市環境基本条例		
	藤枝市環境基本条例		

当社が遵守すべき環境関連法規及び条例に対する違反、また、関係当局からの違反などの指摘も過去3年間ありませんでした。環境に関する訴訟等もありませんでした。

10.代表者による全体評価と見直し・指示

	項目		評価の内容
全体評価	環境への取り組みは適切に実施されているか		電力使用量の削減、ガソリン使用量の削減、産業廃棄物の削減等については、適切に組みが行われています。
	環境経営システムが有効に機能しているか		システムについても問題なく有効に機能しています。
見直し・指示	対象	変更の有無	見直しの内容・指示
	環境経営方針	<input type="checkbox"/> 有/ <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	環境経営目標 環境経営計画	<input checked="" type="checkbox"/> 有/ <input type="checkbox"/> 無	新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したうえで、環境保全活動に取り組んでください。
	実施体制	<input type="checkbox"/> 有/ <input checked="" type="checkbox"/> 無	—

今年度の目標である電力の二酸化炭素排出量削減、自動車燃料の二酸化炭素排出量削減、産業廃棄物削減等の5項目の削減については、計画を達成できています。

一般廃棄物の削減、灯油・LPGの二酸化炭素排出量削減については達成出来ませんでした。

また、営業面においてはecoバッテリーの販売は目標達成したものの、ecoカー販売においては新型コロナウイルス感染症の影響もあり未達となりました。

今後も新型コロナウイルス感染防止に努めるとともに、社員一人ひとりが二酸化炭素排出量の削減等の達成に向けて行動してください。

2022年6月30日

東海自動車工業株式会社

代表取締役 濱崎 芳行